

TOKYO 12 総支部フラッシュ

日暮里・舎人ライナーが開通

ADACHI

～ 開業記念式典に太田代表が出席 ～

新交通システム「日暮里・舎人ライナー」の開業記念式典が3月29日に行われ、公明党の太田あきひろ代表は、友利春久、中山信行都議、北、足立の公明区議らと共に参加。テープカット【写真左】などの後、試乗も行いました【同右】。



同ライナーは、荒川区のJR・京成日暮里駅と、足立区北西部の江北、舎人地域を結ぶ13駅、全長9.7kmの新交通システム。全駅にホームドアを設置し、車両や駅設備はバリアフリー化されています。

江北、舎人地域はこれまで、乗合バスで最寄りのJR駅まで約1時間かかっていましたが、同ライナー開業で、アクセス時間が約20分に短縮されます。

一貫して同ライナーの早期開通に取り組んできた太田代表は、「交通の便が悪かったこの地域にとって、開通は30年越しの念願。地域がさらに発展してほしい」と述べました。

東京北社会保険病院の存続へ

KITA

～ 太田代表が舩添厚労相に要望 ～

太田あきひろ代表は2月19日、東京・北区の桐ヶ丘地区自治会連合会（磯武福会長）の代表らとともに、国会内で舩添要一厚生労働相と会い、東京北社会保険病院の存続、機能拡充を要望しました【写真】。これには、大松成都議、上川晃、青木博子の北区議も同席しました。



太田代表は席上、社会保険庁解体に伴い、同庁所管の病院を整理合理化するという政府方針を踏まえた上で、東京北社会保険病院が北区内で重要な医療拠点であることを説明。「同病院がなくなってしまうのは、地域住民の方々が非常に困る」と強調。磯会長も、同病院が24時間体制で小児救急医療に対応した病院であるなどと指摘し、「存続が地元の願いだ」と訴えました。

舩添厚労相は、社保庁所管病院の整理を政府方針に沿って進めながらも、「その過程で住民の健康を損ねないように対応したい。住民に迷惑をかけないようにする」との認識を示しました。

Tokyo 12 News

●東京12総支部ニュース

KITA & ADACHI WEST
[北区・足立区西部]

No.13

公明党衆議院小選挙区
東京第12総支部機関紙
発行/公明党衆議院小選挙区東京第12総支部
〒114-0002 東京都北区王子2-32-7-3F
TEL:03-3912-5002 FAX:03-3912-5003



妊婦健診の助成回数が拡大

公明・太田代表が先頭に立って推進

2008年4月から北、足立区で「14回」に

公明党（太田あきひろ代表）の粘り強い取り組みが実を結び、2008年度から妊婦健診の公費負担回数を拡大する全国の市区町村が相次いでいます。

北、足立の両区では、この4月から、それぞれ公費負担を14回まで大幅拡大することが決定。喜びの声が広がっています。

党東京第12総支部長の太田代表は、これまで

区議会議員と連携し、北、足立両区での妊婦健診の助成回数拡大を推進してきました。

足立区では、当初、08年度予算案で公費負担を現行の2回から5回にする方針でしたが、区議会公明党の緊急要望（2月12日）を受ける形で、北区と同じく14回までの拡大を決断。今回の大幅拡大が実現しました。